

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JA香里支店新店舗建設工事	階数	地上8F
建設地	大阪府寝屋川市香里南之町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年1月4日
敷地面積	1,366 m ²	作成者	板垣 美一
建築面積	760 m ²	確認日	2021年1月14日
延床面積	3,597 m ²	確認者	中木 福義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 住居・宿泊部分: 2.0% ≤ [昼光率]。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>給水 HIVP(B)、排水 VP(B)、空調 VP(B)、Eは不使用。 建物全体・共用部分: 階高 3.7m以上、3.9m未満。 建物全体・共用部分: 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 [BEI][BEIm] = 0.81。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>床: 防滑性ビニル床シート貼り、タイルカーペット。 LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して87%。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0146

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	JA香里支店新店舗建設工事						
	建設地	寝屋川市香里南之町						
	用途/区分	集合住宅 事務所 物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.2	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							